

V. 平成29年度 ベルアルプ 事業計画

中期事業計画

10ヵ年基本方針

「地域の介護・高齢者福祉の拠点施設をめざす」

医療と介護の複合施設の強みを活かし、ベルアンサンブル内での協働と地域との連携により、地域包括ケアの担い手としての介護拠点施設をめざす。

中期ビジョン

地域で介護を必要とするパートナーが安心して暮らし続けることができるよう地域および関連機関との連携を深め、質の高い介護・福祉サービスが提供できる施設をめざす。

中期戦略

複合施設の機能を活かし、在宅での生活が困難となる中重度要介護者および認知症高齢者の積極的受け入れを推進するとともに、在宅生活支援事業を強化する。

また、各種サービスの活用と地域に向けた情報発信や活動を通じて、施設と地域との相互関係の促進をはかる。

平成29年度 事業計画

1. 平成29年度基本戦略

パートナーの重度化に伴う多様なニーズに応える看護・介護の質向上をはかるとともに、利用者満足度の高い生活支援サービスを提供する。

また、地域および関連機関との連携を深め、地域の高齢者介護を支える福祉施設としての実績向上に努める。

2. 重点活動事項

(1) 利用者獲得

ア) 入居部門

- ・ 平均利用者数を **78.3** 人／日 (**98%**) を目標とする。
入居者の健康管理を多職種協働し強化する。
入院中のパートナーの治療経過を把握し、家族と今後の方向性について、1 ヶ月経過時に話し合いの場を持つ。
- ・ 入居者の平均介護度 **4.0** 以上を目標とする。
- ・ 退居後の空床期間を5日以内として、できる限り早期入居者を判定し決定する。
- ・ 認知症加算、経口維持加算などを維持継続し、質の向上に努める。

イ) 短期入所部門

- ・ **18** 名以上／日 (**90%**) を目標とする。
- ・ 定期利用者数を **80** 名／月以上を目標とする。
- ・ 渉外活動をより活発化させる。
- ・ 緊急受け入れ体制およびADL・IADLの維持向上をめざした個別機能訓練を強化する。
- ・ 地域主催の研修や認知症カフェへの参加を積極的に行い、介護支援専門員との情報の共有化に努める。

(2) サービス

ア) 平成 30 年度第三者評価再審を職員へ周知し準備を行う。

- ・ 各種マニュアルの見直しを行う。

イ) 看取り介護の充実

- ・ P D C A サイクルにより再構築した看取り介護を実践する。
- ・ 家族、職員間で情報共有をしっかりと行い、充実した看取り介護を実践していく。
- ・ 家族、スタッフに対して実施しているグリーンケアを継続する。
- ・ デスカンファレンスを継続し今後のケアに繋げる。

ウ) 重度化に対応した多職種協働による健康維持

- ・ 摂食、嚥下チームによる定期的な嚥下評価を行い、最後まで「口から食べる」ことを支援する。
- ・ 継続して歯科医師・歯科衛生士と協働し口腔ケアを徹底する。
- ・ 認知症ケアとして学習療法を継続し、さらに取り組みを強化するため

にワーキングチームを編成し施設全体で取り組む。

- ・ NM式評価を継続し入居者個々の機能評価を行い、日々のケアの評価に繋げる。
 - ・ 入居者の状況に応じた個別機能訓練の実施。
 - ・ 栄養状態や皮膚状態に留意し、褥瘡予防に努める。
 - ・ 発生時はDESIGN-R評価を実施して早期治癒に繋げる。
- エ) ユニットケアを充実させる
- ・ 24時間シートは、個別性の高いケアプランが反映されているかをチェックする。
 - ・ 介護記録の質を高め、個別ケア実践の評価を行う。
 - ・ 居室やリビングなどの生活環境が安心して生活できる空間づくりに取り組む。
 - ・ 自宅での生活がイメージできるように配食や調理レクリエーションに積極的に取り組む。

(3) コスト

- ア) 各種、設備機器の効率的な維持管理に努め、経費削減に繋げる。
- イ) 業務の効率化などにより、時間外勤務削減に取り組む。
ノー残業デーを月1回実施する。
- ウ) 消耗品の適正使用と発注管理を継続し、コスト削減に努める。

(4) 組織人材

- ア) 職員がやりがいを感じる職場づくりに取り組む。
- イ) キャリアパスを活用し、教育の充実をはかり、個々の職員のキャリアアップを支援する。
- ウ) 介護研究の取り組みを学会、福祉施設大会等で発表する。
- エ) 年間研修計画に基づき施設外研修に参加する。
- オ) 認知症介護リーダー研修、認知症実践者研修の受講を支援する。
- カ) 超過勤務の分析、業務改善を実施し働きやすい職場づくりをする。
- キ) 有休取得率を向上させ、介護職のワークライフバランス実現をめざす。
- ク) 施設内でユニットケア活動実践報告会を開催し情報の共有をはかる。

(5) 地域公益事業の実施

- ア) ベルアンサンブルと連携し、地域への「出前講座」を継続する。

- イ) 地域住民との交流の場、「ベルアルプふれあい喫茶」「ぬくもりカフェ」を継続する。
- ウ) 社会貢献事業への取り組みを行っていく。

3. 重点活動目標値

- (1) 今年度の月別1日平均パートナー数の目標値は次の通りとする。

(単位：人／日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	79	78	79	78	78	79	79	78	78	78	78	78
短期	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
通所	32	32	33	33	33	33	34	34	33	33	33	34

4. デイサービスセンターの具体的目標

- ア) 新規利用者4名以上を確保し、平均利用者数33人／日を目標とする。
- ・ 登録者数 100名以上 を目標とする。
 - ・ アピールポイントを明記したチラシなどを作成し、渉外活動訪問時に配布する。
- イ) リハビリ機能を強化し、利用者の個別機能訓練のニーズに柔軟に対応するとともに、ベルピアノ病院通所リハビリとの連携に努める。
- ・ 地域包括支援センターとの連携を強化する。
 - ・ 中重度者ケア体制加算、認知症加算を維持継続する。